

!!! Study Abroad Program !!!

羽衣生のための海外研修 GUIDE BOOK

HAGOROMO UNIVERSITY OF INTERNATIONAL STUDIES

2026-2027



Be the
ONE



羽衣国際大学
共通教育開発センター（CSD）

Hagoromo University of International Studies
Center for Student Development

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1

TEL 072-242-8300

Email csd@hagoromo.ac.jp

羽衣国際大学

HAGOROMO University of International Studies

共通教育開発センター（CSD）

羽衣国際大学海外研修・留学プログラム参加目的

以下の4つの力を身につけよう！

1 語学・対人コミュニケーション能力

語学力を向上させ、人々とのコミュニケーションの中で自己の考えを効果的に伝え、意見交換ができる力

2 異文化適応能力

異なる言語、考え方、生活習慣を持つ人々との交流を通し、異文化を理解し、受容、適応できる力

3 問題解決能力

未知の人間関係、社会の中で生じる想定外の状況と向き合い、問題を乗り越える力

4 専門知識・技能の国際的応用力

将来のキャリア形成を見据えながら、自分の専門分野の知識や技術をグローバルな場で生かす力



海外留学を目指す皆さんへ



羽衣国際大学 国際交流委員会

委員長 田淵 宗孝

羽衣国際大学は、現在10の国・地域に渡る23の大学および教育機関と協定を締結しています。これらの提携校との連携を通じ、本学の海外研修・留学プログラムでは、語学・対人コミュニケーション能力、異文化適応能力、問題解決能力、そして専門知識・技能の国際的応用力といった、4つの能力に関する学生の成長を目指しています。また各プログラムは短期間の語学・文化研修から、1学期間あるいは2学期間にわたる中長期的な交換留学まで多様なタイプのもので構成されており、学生の目的や意識に合わせて選択をすることが可能となっております。

グローバル化の進んだ現代社会は今も多くの課題を抱えています。その多くは世界的課題と関係するものであり、その課題解決のための「正解」はありません。そのなかで、これからの皆さんの時代を少しでもベターな方向に進めていくためにも、学生時代に海外で何かしらの経験を積んでおくことは有益です。また、個人のレベルでも、自分の技術や能力がどこまで世界で通じるか、あるいは自分に何が足りないのか、そういったことを知るためには世界に足を踏み入れることが必須な時代となっております。

羽衣国際大学は、アメリカ留学から帰国した島村育人先生らが1923年に、世界に通用する人材を育成するための女学校を創立したことに始まります。この考え方は今も大学に引き継がれています。学生の皆さんが、海外研修プログラムを通じて自らの視野と可能性を広げていただくことを切に願っております。

羽衣国際大学 共通教育開発センター（CSD）

センター長 清水 明男

「海外研修ガイドブック」を手にとっていただきありがとうございます。このガイドブックを手にとってくれた皆さんは、海外研修や留学に関心があるのではないかと思います。

そんな皆さんにお伝えしたいことがあります。それは、海外研修に参加した人から「行かなければよかった」という声を聞いたことがないということです。ほんとうに一度もありません。それどころか一度出かけた人は、できればもう一度海外へ行きたいと言う人がほとんどです。言葉も習慣も異なる国へ行くことは、快適なこと、楽しいことよりも、不安や不便を経験することの方が多くでしょう。それでもまた行きたい、と思うのはなぜでしょうか・・・？

それは海外に行かなければ経験できないことがあるからだだと思います。どれほどバーチャル技術が発達しても、実際に海外の異なる空気、景色、ヒトやモノとの出会う体験はできません。それらの経験は、皆さんの五感を刺激し、揺さぶり、皆さんに確実に「変化」をもたらします。この「変化」こそ、学びであり、海外へ行くことの醍醐味です。学びや成長は本来楽しいものです。だからその楽しさを経験した人は、もっと変わりたい、学びたい、成長したいと思うのです。このガイドブックを手にとった皆さんも、ぜひ、少しでも勇気を出して、未知の世界に一步踏み出してみてください。

海外研修は、語学や文化体験、ボランティア活動などプログラムごとに特徴があります。要件を満たせば、海外協定校で語学や専門分野の学びを深めるセメスター以上の長期交換留学のチャンスもあります。このガイドブックが皆さんの新しい経験、出会いのきっかけとなることを心より願っています。

2026年海外研修・留学先一覧

種類	研修先	大学名等	時期	期間
語学・異文化体験	アメリカ	サンフランシスコ州立大学	夏・春	2～4週間
		SPSCC	夏	2週間
	ニュージーランド	マッセー大学	夏・春	2週間
	韓国	釜山外国語大学	夏・春	3週間
		湖西大学	夏	2週間
	台湾	弘光科技大学	夏	2週間
語学研修	アメリカ	SPSCC	学期ごと	1学期～
		グアム大学	学期ごと	14週間
	ニュージーランド	マッセー大学	随時	5週間～
		フィティレイア&ウェルテック	学期ごと	17週間
	オーストラリア	サザンクロス大学	随時	4週間～
	アイルランド	グリフィス大学	随時	2週間～
セメスター留学	アメリカ	サンフランシスコ州立大学	学期ごと	1・2学期
		SPSCC	学期ごと	1・2学期
	オーストラリア	サザンクロス大学	学期ごと	1・2学期
	アイルランド	グリフィス大学	学期ごと	1・2学期
交換留学	アメリカ	SPSCC	学期ごと	1・2学期
		アイルランド	グリフィス大学	学期ごと
	韓国	釜山外国語大学	学期ごと	1・2学期
		順天郷大学	学期ごと	1・2学期
		湖西大学	学期ごと	1・2学期
	台湾	弘光科技大学	学期ごと	1・2学期
スタディツアー	フィリピン	認定NPO法人 アクセス	夏・春	1週間
国際シンポジウム	年度による	USLS	夏	1週間
オンライン留学	フィリピン	CNE1	—	1～12週間
		デラサール大学	—	3週間
中・長期留学	UMAP加盟大学国	UMAP(アジア太平洋大学交流機構)加盟大学	学期ごと	1・2学期

CONTENTS

参加方法・申し込み手続き	03	海外研修・留学先の紹介	08
申し込みチェックリスト		交換留学	
単位認定書類提出 & 研修報告		語学・異文化体験	
注意事項			
よくある質問 Q&A	05	Voice 私の留学体験談	13
危機管理ガイドライン	06		

海外研修・留学・奨学金
問い合わせ



HAGO☆STA

Location 3号館1階
Email csd@hagoromo.ac.jp
TEL 072-242-8300





海外研修・留学への参加方法（準備から出発まで）

1	<p>申し込みに向けて（出発の約1年～4か月前）</p> <p>海外研修論履修&海外研修ガイダンス出席</p> <p>①海外研修論を必ず履修する ②海外研修ガイダンスに出席し、参加プログラムを決定する <small>※パスポートを持っていない学生は、事前に取得の申請をしておくこと。</small></p>	
2	<p>申し込み</p> <p>①Webフォルダから「保証人・担当教員用承諾書」をダウンロードし、クラスアドバイザーorゼミ担当教員と保証人（保護者）に押印をもらう ②海外研修申込QRコードから、申請フォームに必要事項を記入し、押印した「保証人・担当教員用承諾書」をアップロードして提出する</p>	<p>▼海外研修申込QRコード</p>
3	<p>学内審査・決定</p> <p>羽衣国際大学生としての自覚を持ち、海外研修の目的・内容を理解しているかを面接で確認する</p>	
4	<p>渡航準備</p> <p>①渡航までのスケジュール等についてガイダンスを実施 <small>※参加必須。</small> ②必要書類の提出</p> <p><i>check!</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 渡航に関する同意・誓約書 <input type="checkbox"/> 留学届 <input type="checkbox"/> パスポートのコピー（有効期限とページ数が十分にあるもの） <input type="checkbox"/> ビザ <small>※必要な場合。</small> <p>③研修費用の支払い</p>	
5	<p>事前学習</p> <p>充実した研修を送るための必須講義に参加（90分3回～4回） <small>※欠席者は単位申請不可または研修とりやめの可能性があります。</small></p>	
6	<p>出発前オリエンテーション</p> <p>①渡航前の最終確認 <small>※参加必須。</small> ②必要書類の提出</p> <p><i>check!</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 海外渡航届 <input type="checkbox"/> 出発前チェックリスト 	
7	<p>出発</p> <p>伊丹空港または関西国際空港より出発</p>	
8	<p>研修参加中</p> <p>①節度ある行動で積極的に研修に参加すること <small>※羽衣の代表学生であることを忘れずに！</small> ②決められた提出日までにレポート（到着後・中間・帰国時）をCSDへ提出 ③共通教育開発センター（CSD）の職員と常に連絡をとれるようにしておきましょう ④授業内で現地から留学体験談を話してもらう場合があります</p>	

Check List

申し込みチェックリスト

point! 海外研修参加希望の学生は全ての質問にチェックが入る必要があります

全研修共通

全学共通学外研修分野「海外研修論」を修了または履修中、履修予定ですか？

授業料の未納はありませんか？

交換留学・中長期留学

4年間で確実に卒業できる単位を取得していますか？

留学時2年生以上ですか？

総合GPAもしくは学年GPAが2.3以上ですか？

家族の理解を得ていますか？（渡航期間、渡航先の国・地域、費用等）

単位認定書類提出&研修報告

■ 留学終了届・単位認定申請書・帰国レポートの作成

※提出必須。提出期限を過ぎると単位認定されませんので注意してください

■ 成果報告会・授業ガイダンス等での研修報告に参加

海外研修で培った経験を後輩に伝えましょう！

● 帰国後、現地でお世話になった先生・スタッフ・学生・ホストファミリーへ御礼の手紙、メール等を送ること

注意事項

■ 中・長期留学に参加する場合は、事前に担当教員と履修計画やゼミについて相談しましょう。留学中のゼミの履修等の調整は学生本人がしなければなりません。

■ 申込書類に保護者の捺印を必要とするものがあります。遠方等で捺印が難しい場合は、CSDに相談してください。

よくある質問

Q 留学はどのタイミングで行った方がいいですか？

A 短期留学は夏休みや春休み等の長期休暇中に参加できるため、基本的に1~4年生のいつでも行くことができます。しかし、交換留学などの中・長期留学は3年生以降になると、就職活動との調整が難しくなります。長期留学を目指している人は、早い段階から留学時期や履修計画を検討しておきましょう。

Q & A

Q 募集中のプログラムはどこでわかりますか？

A 募集中のプログラムはWebポータルのお知らせやHAGO☆STA前の海外研修掲示板で確認することができます。また、定期的開催される海外研修ガイダンスでは、プログラムの紹介や申込方法の説明を行っていますので、海外研修に興味のある人はぜひ参加してください。

Q 留学を考えているのですが、どのタイミングで相談した方がいいですか？

A 短期の場合は半年前を目安にCSDに相談しに来てください。中・長期の場合は1年前から相談することを強くお勧めします。どちらの場合でも、留学を検討したらまずは気軽に相談に来てください。

Q 学内申込締切はいつまでですか？

A プログラムによって異なりますが、基本的にはプログラム開始日の2~6か月前です。

Q どうやって申し込めばいいですか？

A 海外研修ガイドブックやHAGO☆STA前の海外研修掲示板に掲載してある海外研修申込QRコードから、申請フォームに必要事項を記入し送信してください。その際、Webフォルダからダウンロードした「保証人・担当教員用承諾書」も記入・押印の上アップロードしてください。

Q パスポートはどのタイミングで取得すればいいですか？

A 学内申込までにパスポートを取得することをお勧めします。学内申込時にパスポートを持っていない学生は、できるだけ早めにパスポートの申請をしてください。特に大阪に住民登録をしていない学生は、受領までに時間がかかる場合があるので注意してください。また、中・長期留学はビザ取得まで平均3か月間かかるため、余裕をもってパスポートの申請・受領を行いましょ。

⚠️ 危機管理ガイドライン

⚠️ 自分の身は自分で守るための心構え

海外では日本と異なる危険に遭遇する可能性が高くなります。留学準備段階から現地の情報にアンテナを張り、常に自分自身で責任をもって安全管理に努めることで、多くのトラブルを回避できます。特に以下の点については、外務省作成の「海外安全虎の巻」等を参考にしながら、事前に十分理解しておいてください。



check!

- 危険な場所には近づかない
- 目立つ服装や言動は慎む
- パスポートは絶対に無くさない
- 万が一犯罪にあったら、命を優先して行動する
- 常に連絡の取れる状態にいる
- 見知らぬ人を安易に信用しない
- 多額の現金・貴重品は持ち歩かない
- 滞在国の法律順守はもちろんのこと、薬物使用や未成年の飲酒等日本国内の法律に抵触する行為は行わない
- 現金等は小分けに持ち歩く

⚠️ 渡航前に準備しておくべきこと

外務省 海外安全ホームページのチェック

<https://www.anzen.mofa.go.jp>



留学先の連絡先等の登録

※緊急時にすぐ連絡できるよう、留学先及び本学の担当者連絡先を登録しておくこと。また、留学中に連絡先を変更した場合は、共通教育開発センターへ報告してください。

海外旅行保険の加入（盲腸の手術で、150万円かかった事例もあります）

※海外で入院・手術が必要となった場合、医療費が非常に高額になったり、家族が留学先を複数回訪問する必要性が生じ、高額な渡航費用が発生するケースがあります。また、医療水準が日本に比べて低い国では、海外への緊急搬送が必要となり、高額な医療費が必要となる場合もあります。このような事態に備えるため、海外旅行保険には必ず加入してください。また、補償内容や免責事項を自分自身で把握するとともに、家族にも内容を確認してもらいましょう。



海外に留学する場合、文化・習慣はもとより、制度・治安など日本とはまるで違うことが多々あります。日本を離れ海外で生活する中で、怪我や病気、事件・事故などのリスクは常に存在しており、そのリスクを軽減するためにも必要なのが「自分の身は自分で守る」、すなわち自己責任という意識です。

留学状況の報告

留学中は羽衣国際大学生として誠実な行動を心掛け、協定校担当者の指示に従いましょう。

日本国内の家族や共通教育開発センターへ定期的に連絡を行い、特に休暇中の旅行等滞在場所を離れる場合は必ず連絡してください。また、1か月以上留学する場合は、ゼミ担当教員及び海外研修担当職員に定期的に状況を報告すること。担当教員は留学中の学習についての指導を行い、担当職員は生活面において適宜支援を行います。



派遣先及び国内の緊急連絡先情報の把握及び共有

万が一の場合に備えて、以下の情報を学生-保護者-大学間で共有しておきましょう。

check!

- 渡航期間
- 渡航場所(国・地域)
- 滞在場所(宿舍等)
- 協定校担当部署及び担当者名
- 協定校担当者の連絡先
- 本学の担当部署及び連絡先
羽衣国際大学 共通教育開発センター(CSD)
TEL +81 072-242-8300 Email csd@hagoromo.ac.jp
- 本学の夜間緊急連絡先
羽衣国際大学(代表)
TEL +81 072-265-7000
- 現地の最寄り日本大使館/総領事館の住所及び連絡先
- 海外旅行保険会社の連絡先



海外渡航前に「自分の身は自分で守る」ための情報収集を行い、危険管理の心構えを十分に理解した上で海外研修プログラムに参加しましょう。留学中は「羽衣国際大学の学生」としての自覚を持ちながら行動してください。

Where? 韓国

交換留学プログラム2026年度募集 3大学を紹介!



順天郷大学

Soonchunhyang University



交換留学 期間 約4か月または1年間 宿泊 寮

語学要件 韓国語能力試験(TOPIK)不問

※読み書きができる程度あるいは韓国入国後自ら学ぶ意欲があれば可

Profile

順天郷大学の交換留学プログラムでは、ほとんどの授業を英語で受講します。世界各国からの留学生と一緒に生活する学生寮での公用語もちろん英語。韓国にしながら「英語で学ぶ」という、ユニークなプログラムが魅力です。この研修では、英語や韓国語の語学習得だけでなく、豊かな国際感覚を身に付けることができます。



湖西大学

Hoseo University

交換留学

期間 約4か月または1年間

宿泊 寮

語学要件 韓国語能力試験(TOPIK)不問

※読み書きができる程度あるいは韓国入国後自ら学ぶ意欲があれば可

語学・異文化体験

期間 2週間

宿泊 寮

語学要件 なし

Profile

牙山市はソウルから85km程南に位置し、現代自動車やサムスン電子等の生産拠点がある一方、温陽温泉など韓国有数の温泉地としても有名な都市です。湖西大学は「ベンチャー志向の大学」として知られ、政府からもベンチャー特化型大学として支援を受けています。また、50ヶ国以上の大学と海外協定を結ぶなど国際的な大学でもあります。



図書館 ▶



Impressions



Yuki Ishii
放送・メディア映像学科
卒業生

韓国語を楽しく話せるようになった

私は、夏期短期研修で韓国にある湖西大学のプログラムに参加しました。高校生の時から韓国が好きで、韓国語を話したいという気持ちから参加を決めました。湖西大学のプログラムは、午前が授業、午後が文化体験になっていて、勉強とアクティビティのバランスが良かったです。授業は、基礎クラスと応用クラスの2クラスに分かれて行われました。応用クラスは、声に出して読んだり、自分で文章を考えてグループで発表したりと実践的な授業内容

でした。韓国に行く前は自信がなく、韓国語を積極的に話すことができていませんでしたが、授業を通じて話すことが楽しく思えるようになりました。文化体験では、ソウルツアーでソウルタワーや北村韓屋村に行って歴史を学んだり、韓国カフェに行ってみなでたくさん写真を撮ったりしました。また、最終日にはエバーランドというテーマパークに行き一日遊びました。他にもパティプログラムがあり、湖西大学の韓国人学生と交流することができました。グループでの活動で、カラオケやショッピングを楽しみました。ほぼ初めての海外で友達ではなく一人で応募したので、最初は不安でしたが、このプログラムに参加しないと出会えなかった人達と出会えて、参加してよかったと思いました。



釜山外国語大学

Busan University of Foreign Studies



交換留学 期間 約4か月または1年間 **宿泊** 寮

語学要件 韓国語能力試験(TOPIK)不問 *コースによってはTOPIK必要
※ある程度韓国語能力がある方が望ましい

語学・異文化体験 期間 3週間 **宿泊** 寮

語学要件 基本的なハングルの読み書きができれば可



▲ 図書館

Profile

釜山市は韓国の南東部に位置し、人口規模はソウルに次ぐ2位。対馬海峡に面し、古くから日本と朝鮮半島を結ぶ交通の要衝として栄えてきた港湾都市です。釜山外国語大学は1981年に設立された私立大学で、様々な外国語学科をはじめ、映像メディア学科、国際貿易学科など幅広い学科を有しています。釜山外国語大学の交換留学プログラムでは、韓国語で授業を履修するため、ある程度の韓国語能力が求められます。

Impressions

Yuzuna Odajima
食物栄養学科



海外研修を通して得た学びと成長

私はK-POPが好きになったことをきっかけに、韓国語を独学で学んでいました。しかし、日本では実際に会話をする機会がほとんどなく、自分の語学力がどの程度通用するのかわからなかったという思いから、プログラムに参加しました。今回の研修では、現地で韓国語を学ぶという貴重な経験を得ることができました。午前中の授業では、単語や文法、発音などの基礎を丁寧に教えていただき、とても理解しやすかったです。さらに、ペア

ワークや発表の機会が多く、実践的に学ぶことでより理解が深まり、学習内容の定着を実感することができました。また、午後にはアクティビティが多く、授業で習った内容を活かしながら、楽しんで取り組むことができました。加えて、現地の大学生との交流を通して、教科書では学べない自然な表現や実際の言葉の使い方に触れることができました。韓国の伝統的な遊びを教えてもらったり、釜山の観光名所を訪れたりするなど、貴重な体験もできました。はじめはコミュニケーションがうまくいかず悩むこともありましたが、実際にその土地で学ぶことで語学力の向上を実感するとともに、韓国の文化や慣習を実際に体験できたことは大きな学びとなりました。学習面だけでなく、人としても成長できた、非常に充実した研修だったと感じています。



台湾

弘光科技大学

Hungkuang University



交換留学 期間 約4か月または1年間 **宿泊** 寮

語学要件 IELTS5.0以上もしくはTOCFL(華語文能力測驗)A2以上同等レベル

語学・異文化体験 期間 2週間 **宿泊** 寮 **語学要件** なし

Profile

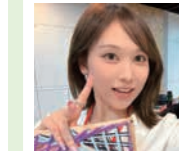
台湾の台中に位置する私立科技大学。栄養学科や幼児教育学科、マルチメディアゲーム学科、理美容学科などの多彩な学科があり、実務指向の職業教育を行っています。大学から台中市内中心部までは車で40分程度で、バスも頻りに運航しており交通に便利です。短期研修では、様々な国の学生と一緒に英語で中国語や台湾文化を学ぶため、英語力も伸ばすことができます。

Impressions

異文化の中で友達と学び、成長できた二週間

私は台湾・弘光科技大学の語学・異文化研修に約二週間参加しました。午前中は英語で中国語の授業を受け、自己紹介やあいさつ、日常で使える表現などを基礎から学びました。午後は専門コースの体験授業や文化体験、観光があり、パイナップルケーキやタピオカミルクティー作り、ピラティスなど台湾ならではの体験を通して楽しく学ぶことができました。

研修には多国籍の学生が参加しており、寮生活や授業、放課後の時間を通して自然に交流が生まれました。放課後や休日には、友達と一緒に夜市へご飯を食べに行ったり、観光地へ出かけたりと、日常の中で多くの思い出を作ることができました。英語での会話に不安もありましたが、伝えようとする気持ちを大切にすることで、少しずつ自信を持って話せるようになりました。文化や価値観の違いを尊重し合いながら過ごしたこの二週間は、語学力だけでなく視野を広げられる貴重な経験になりました。



Neiro Kitano
現代社会学科



アメリカ

英語もアメリカ文化も体験したいあなたには、これ!

サウスピュージェットサウンド コミュニティカレッジ(SPSCC)



South Puget Sound Community College

語学・異文化体験 期間 2週間 **宿泊** 大学指定のアパート・ホームステイ

Profile

ワシントン州の州都オリンピアにある公立の2年制大学。シアトルのダウンタウンからは車で1時間、空港からは50分程度南に行った場所にあり、大学からオリンピア市のダウンタウンまではバスで30分程度。大学からバスで15分程度の場所にショッピングモールがあり、買い物はシアトルまで行かずとも十分にオリンピア市内で済ませることが出来ます。森に囲まれたキャンパスは、非常に落ち着いた雰囲気、学習に集中したい方におすすめの大学です。

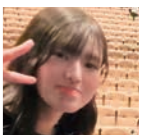


Impressions

英語をもっと学びたいと思った体験

今回私が参加したプログラムは、午前中に英語の授業をして、午後にはアクティビティをしました。英語の授業では、主に日常で使う英語の発音の練習をしたりゲームを通して英語を学びます。日本の授業とは違ってグループワークが多く積極的な発言が求められて授業スタイルの違いにすごく驚きました。現地の大学生のサポートが手厚く、授業の中でプレゼンを作った時に、正しい発音の仕方や自然なフレーズを教えてくれて自然と仲良くなりました。アクティビティでは山登りやボランティアに参加したりしました。一番文化の違いを感じたアクティビティが野球観戦でした。観戦の雰囲気から違って、攻守交代を待つ間に観客が躍る時間があって日本にはない文化だなと思いました。

移動時間のバスの中で話したり、アパートには現地の大学生と一緒に住むのでそこで仲良くなって一緒にゲームをして遊びました。最初は自分の英語力で相手に上手く伝わるか不安だったけど、様々なアクティビティで話す機会が多く段々自信がついて最終日に近づくと話せるようになっていきました。英語が苦手でも、現地の大学生がきっかけでサポートしてくれるのでどんな人でも参加してよかったと思えるプログラムです。



Karin Takeda
人間生活学科



Guam 大学

英語学習 (English Language Institute)

University of Guam

語学研修 期間 4か月 **宿泊** 寮・アパート



Profile

日本からほど近いリゾート、Guam島にあるミクロネシア唯一の総合大学。キャンパスは太平洋が一望できる広大な敷地に立ち、学生の国籍・文化も多彩です。Guam唯一の語学学校であるGuam大学イングリッシュ・ランゲージ・インスティテュートは、1979年から「第二母国語」としての英語教育に取り組んできました。アメリカの大学入学へ向けて準備を進める学生や、英語環境下で会話能力向上を目指す人を対象にした授業を展開しています。



サンフランシスコ州立大学 SF Discover Program

San Francisco State University

語学・異文化体験 期間 2週間~4週間(夏・春)

宿泊 (時期によって異なる)寮・アパート



Riku Toyama
人間生活学科

Impressions

やりたいことを積極的に

アメリカのサンフランシスコに三週間留学しました。現地に到着してまず感じたのは、想像していた以上に都会的な街並みと坂道の多さです。日本ではあまり見られない景色が広がっており、新しい場所に来たことを強く実感しました。プログラムが始まるまで数日あったので先になんか所回りました。街を歩く中で分からないことがあると、積極的に現地の人に話しかけましたが、英語が完璧じゃなくても親身に対応してくれる人が多くアメリカのオープンな文化を実感しました。プログラム開始後は、日本からの留学生と合流し、現地大学での授業が始まりました。サンフランシスコの大学生とも交流する機会がとて多く、日常的に挨拶を交わすし、食事と一緒に

にするなど楽しく関係を深めることができました。授業はすべて英語で行われ、主にグループディスカッションが中心でした。自分の考えを即座に英語で伝える難しさを感じると同時に、積極的に伝えようとする姿勢の重要性を学びました。午後はクラスメイトと観光地を巡り、街の歴史や文化への理解を深めました。週末にはサンディエゴとロサンゼルスを訪れ、サンフランシスコとは異なる都市の雰囲気を体験しました。この留学を通して、語学力だけでなく、多様な価値観を受け入れる柔軟さ、積極的に伝えようとする力を身につけることが出来たと感じています。

ニュージーランド

フィティレイア&ウェルテック

New Zealand Certificate in English Language (NZCEL)

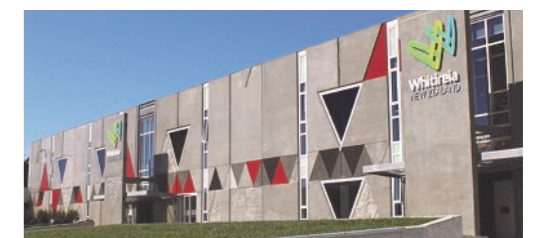
語学研修 期間 17週間

語学要件 IELTS 5.5以上



Profile

アカデミック英語が勉強したい人におすすめのプログラムです。ニュージーランドでの就職や進学に必要な国認定の資格を取得することができます。



マッセー大学

語学・異文化体験

期間 2週間

宿泊 ホームステイ 参加人数 10名以上



Profile

1927年に建学され、パーマストンノースやアルバニー、ウェリントンにキャンパスを持つ大学です。短期プログラムでは午前英語の授業、午後には現地学生との交流イベントやアクティビティがあり、楽しみながらニュージーランドの文化や歴史について勉強できます。語学力の要件を満たす学生は、1名から参加できる4週間以上のプログラムに参加することも可能です。

て語彙を増やしたり、留学の準備をしていくうちに、楽しみが増えていきました。先輩やCSDの先生にも気軽に相談できたのでとても安心して出発できました。ニュージーランドについてからも日本人の頼れる先生がいたのでとても心強かったです。午前の英語の授業は、想像していたものよりも簡単な内容だったと感じました。先生が作ってくださったプリントを使って授業を行いました。毎日英日記を書いて、次の日先生に校閲してもらいました。いつも優しい英語で話してくださるので、英語に自信の無い人でも、授業について行くことができます。休日にはホストファミリーがショッピングモールやビーチへ連れて行ってくださって、他にどんなことがしたいか、どこに行きたいか、何が食べたいか、沢山提案をしてくれてとても助かりました。現地の人との交流でニュージーランドの文化を経験しながら英語力を高め、有意義な留学にできたと思います！

Impressions 英語を楽しく学ぶことができた

私がGCPの一員になり、ニュージーランドへの研修が決まった時は、あまり自信がありませんでした。自分の語学力で留学にいけないだろうか、ホストファミリーと仲良く2週間過ごせるか、不安もありました。ですが、授業内でニュージーランドについて調べて知識を増やしたり、オンライン英会話をして



Yuzuki Tanaka
人間生活学科



オーストラリア

サザンクロス大学

General English

Southern Cross University

語学研修

期間 4週間～

宿泊 ホームステイ



Profile

実用英語を勉強したい人にピッタリなプログラムです。様々な国から集まった学生と毎日約5時間の英語授業を受講し、ホストファミリーと一緒に過ごすことで、英語漬けの日々を送ることができます。リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能をバランス良くスキルアップできます。

Impressions 勉強も観光も両立できる最高の留学環境

私はオーストラリアでの半年間の語学留学プログラムに参加しました。高校生の頃から海外生活に強い憧れがあり、今回のホームステイを通じて現地の文化や生活を実際に体験できたことは、非常に貴重な経験となりました。授業は1日3コマあり、週ごとに決まったトピックに関する教材を使って行われました。毎週金曜日には学習の進捗を確認するためのプログレステストがあり、自分の英語力を確認する機会が多くモチベーションの維持に繋がりました。放課後や休日には友達とよく出かけました。ゴールドコーストにはテーマパークが複数あり、年間パスポートを購入しよく遊びに行っていました。また留学中の一番の思い出は友達とサーフィン始めたことです。ゴールドコーストは「サーファーズパラダイス」という地名があるほどサーフィンに最適な都市で、最高の体験ができました。



Ryo Yasuda
放送・メディア
映像学科 卒業生

あり、週ごとに決まったトピックに関する教材を使って行われました。毎週金曜日には学習の進捗を確認するためのプログレステストがあり、自分の英語力を確認する機会が多くモチベーションの維持に繋がりました。放課後や休日には友達とよく出かけました。ゴールドコーストにはテーマパークが複数あり、年間パスポートを購入しよく遊びに行っていました。また留学中の一番の思い出は友達とサーフィン始めたことです。ゴールドコーストは「サーファーズパラダイス」という地名があるほどサーフィンに最適な都市で、最高の体験ができました。オーストラリアは移民が多く多文化共生社会なため、留学中も様々な人たちと関わりました。そして多くの人々が人に優しくフレンドリーで、とても住みやすい国だと感じました。このプログラムは1か月から1年まで自分の好きな期間、タイミングで参加できるので、留学に興味のある全ての人に合ったプログラムだと思います。少しでも興味があればぜひ挑戦してみてください。



アイルランド

グリフィス大学

Griffith College

語学研修

期間 2週間～

交換留学

期間 1・2学期

語学要件 IELTS 5.5以上

宿泊 ホームステイ・寮



Impressions

新しい文化・新しい自分を発見できた1か月

私は羽衣国際大学に入った時から留学にとっても興味を持っていました。しかし実際には「お金も高いしどーせむやみや」と行動していませんでした。ただ時間が経つにつれ「行かんかったら絶対後悔する」と感じ、英語の勉強をし、家族の助けもありながらお金を貯め、留学を実現できました。

行き先はアイルランドのコークという場所です。1か月の短期留学を行いました。アイルランドはとにかく人が優しく、景観も綺麗でとても良い国でした。ただアイリッシュ特有の訛りが結構聞き取りづらいので頑張ってくださいます(笑)。でも、聞き返したら優しく教えてくれるので、安心してください！

アイルランドはヨーロッパ圏に位置しており、イギリスやフランスなど近く行くのでとても良いところです。また、グリフィスカレッジでは、さまざまな国の人が年齢問わずにまたそこで新しい事を知れたりとても有意義な時間を過ごせます。そしてホームステイでは、ホストマザーが美味しいご飯を作ってくれたり、ルームメイトとよく学校おわりに自然を見に行ったりとても楽しい時間を過ごせました！自然好きにはもってこいの国です！少しでも留学に興味があるなら是非行動に移して色々な経験をしてください！！



Masato Nishimura
人間生活学科

Profile

1974年に創立し、ダブリン、コーク、リメリックにキャンパスを持つアイルランド有数の私立大学です。外国人学生も多く、中国、アメリカ、ヨーロッパ等、世界70ヶ国以上の留学生が学んでいます。ビジネス、ファッションデザイン、放送メディアのコースを有しており、少人数制の講義が特徴です。



マレーシア

USLS

(国際学生リーダーシップシンポジウム)

期間 約1週間

宿泊 ホテル

2025年度開催地

マレーシア

※年によって開催地変更の可能性あり



Profile

このシンポジウムでは、これからの社会を担う学生が世界各国から集まります。現在世界が抱える課題について著名なゲストスピーカーによる講演を聞き、英語で意見交換を行ったり、実際に川の清掃や植樹、現地の学校のペインティング等のフィールドワークに参加することで、課題解決のためのアクションを学ぶことができます。グローバル社会の課題解決に関心があり、英語力に自信のある学生におすすめのプログラムです。



Impressions

バックグラウンドの違う友達と今後の社会問題について会議をした5日間

私は2025年にマレーシアのクアランプールで計4日間開催された第13回USLSに参加しました。この会議では、今後の社会の目標に貢献したい学生たちが、今瞬間的に起こせる短期的な行動だけでなく、自分の個人的な目標や意見、夢を語り、将来的な繋がりを作る場でもありました。この会議期間には「カインドネスデイ」という、話し合うだけではなく、実際に現場に行き行動する力や、皆で協力する大切さを学ぶチャリティーアクティビティもあり、私も実際に参加しました。異なるバックグラウンドを持った参加者たちと同じ目標に向かい、行うボランティアは私にとってとても有意義な時間になりました。



Ari Daibu
現代社会学科



他の国からの参加者達もとても社会貢献や学習への意識が高い学生が多いので会議が終わった後のフリータイムやディナーでも耐えなく各々の国が抱えている問題やアプローチの仕方、またそれらに対する意見を常に話し合っていた4日間でした。このような参加者達との会話からは日本ではニュースに取り上げられないが現地ではとても重大な問題として認識されている問題などを新たに知れてとても学習になることが多かったです。このような会議に参加できたこと、素晴らしい参加者たちと時間を共にしたことは私にとってとても貴重な経験になりました。



フィリピン

CNE1

オンライン英語プログラム

期間 1週間～1か月

毎週月曜開始



Profile

1コマ50分のマンツーマンレッスンでは、英語を「話す」「聞く」事に絞って授業を行います。一人ひとりの苦手なポイントに合わせて、英語を話す時間をしっかりと確保することで、効率的に英会話力を向上させることができます。

Point.1
週1～2日の
英会話レッスン

Point.2
英会話力の
向上と維持

Point.3
英語を話す
楽しさを知る

デラサール大学

英語プログラム「CIESOL」

期間

18日間(約3週間×2時間×5日間=30時間)
毎月開講



Profile

1911年に創立されたフィリピンの首都マニラ市街に位置する大学で、フィリピン国内でも私立大学の最高峰として位置づけられています。



「CIESOL」とは

CIESOLは、リスニング・スピーキング・読み書き・マイクロスキル(文法、語彙、および発音)に焦点を当てたオンライン英語コースです。コースの詳細については、CIESOL Webサイト(<https://www.dlsu.edu.ph/colleges/bagced/ciesol>)を参照してください。

Voice

私の留学体験談

初村 美空

Miku Hatsumura

放送・メディア映像学科
放送・メディアコース

01

長期留学

留学先

グリフィス大学
Griffith College

留学期間 2025年2月～8月(6か月間)



Q1. 留学しようと思ったきっかけは何ですか？

学生の間に、英語圏で長期留学をしたいという目標がありました。初めは、オーストラリアで長期留学を考えていました。そして、後にアイルランド留学が最近始まったことということを知りました。アイルランドについての事前説明会にも出席しておらず、「アイルランドってどこ？」というくらい何も知らず、アイルランドについての知識が全くありませんでした。しかし、アイルランドについて調べていくうちにアイルランドにとっても魅力を感じて、未知の世界に実際に足を運んでリアルを感じたい！！という気持ちが強くなってきました。知らない場所に飛び込みたい！新しいことに挑戦したい！！という好奇心がアイルランド留学を決めたきっかけです。

Q2. 授業について教えてください。

クラス分けテストをしてからクラスが分かります。全体的に先生はみんな優しく親しみやすかったです。座学で書くよりも話す機会が多く、コミュニケーションをとる機会が多いのはスピーキングの向上に大きくつながったと感じました。なるべく同じ国同士のペアワークを避けてはくれるのが時と場合と先生によります。同じレベルにいる他国のクラスメイトと比べて、日本人は圧倒的に話す力が弱く感じました。理解したていない、わかるわからないをしっかりと伝えないと授業は進んでいくので躊躇わず意思表示はしっかりとするのが大切です。そのためにも、授業では必ず席の前に座ると学ぶ姿勢から変えていけるのがおすすめです！それだけで、先生にも質問しやすい、気にかけてくれます。スクリーンに授業ノートや課題を映してくれて、授業のポイントなどを書いてくれたり、課題を出す先生もいれば出さない先生もいます。WhatsAppでグループがあって、授業ノートや課題を共有してくれる先生もいたのととてもありがたかったです。ほとんどの確率で、日本人が時間通りに出席して、先生や他国の人は遅れてくる人が多いイメージでした。

Q4. 後輩へメッセージをお願いします！

私は半年間のアイルランド留学を通して、語学力だけでなく、人との出会いや文化の違いから学ぶことの大切さを強く実感しました。特にスピーキング力は大きく伸びたと思います。それは、授業だけでなく、カフェやバス、公園など、日常生活のあらゆる場面で積極的に話すことを心がけ、人とのコミュニケーションを大切にできたからです。最初は先生の質問に答えることも難しく、不安でいっぱいでしたが、挑戦を続けるうちに会話を楽しめるようになり、最後には冗談を交わしながら自然に話せるまでに成長できました。

もちろん、言葉の壁や生活の違いに戸惑うこともありました。しかし、その度に友人やホストファミリーに助けられ、人の温かさに支えられました。そして、自分もまた誰かの力になりたいと思ひ、些細なことであっても相手に喜んでもらえる行動を心がけるようになりました。そうした積み重ねが、一生大切にしたい友人との出会い、かけがえのない経験につながったと感じています。

後輩の皆さんに伝えたいのは、「失敗を恐れず、積極的に行動すること」です。日本人らしい礼儀や思いやりは大切にしつつも、周りの目を気にしすぎず行動できない自分には留学先には必要ありません。勇気を出して一歩踏み出すことで、必ず新しい景色や出会いが待っています。

留学は、語学力を伸ばすだけでなく、自分自身を見つめ直し、世界の広さや人の温かさを実感できる大きなチャンスです。今しかできない時間を無駄にせず、一瞬一瞬を大切に過ごしてほしいと思います。

きっと、想像以上に豊かで意味のある経験が待っているはずですよ。



Q3. 留学での取り組み・終えて得られたことを教えてください。

私はアイルランドでの半年間の留学を通して、数えきれないほどの経験をしました。その中で特に意識して取り組んだことは、限られた時間の中で積極的に行動すること、出合いを大切にすること、そして「今しかない時を精一杯生きる」ことです。

まず、コミュニケーションにおいて意欲的に取り組みました。アイルランドでは、日本で当たり前だと思っていたことが、他国の人にとってはすべて新鮮で興味深いものでした。例えば、日本食や日本文化だけでなく、日本のトイレの機能など、一見些細に思えることまで関心を持たれました。そのような場面で、私は一つ一つの質問に丁寧に答え、自分なりの視点で日本を紹介するように努めました。さらに、日本から持参したお菓子や雑貨をシェアすることで、日本への興味を広げてもらうことができました。結果として、多くの友人に日本を「面白い国」と感じてもらい、日本を知り、好きになってもらえたと感じています。また、日本について尋ねられた際に答えられなかった質問は、わからないまま終わらせず、必ず調べて翌日に説明できるようにしました。特に日本の政治や天皇に関する質問は、自分自身の知識不足を痛感すると同時に、学び直すきっかけとなりました。これは、単に会話をつなぐだけでなく、自分の成長にもつながった大切な経験でした。さらに、学校生活においては、クラス代表としてミーティングに参加し、他のクラスとの意見交換を行いました。普段関わる機会が少ない学生とも交流でき、学年全体のつながりを感じられるようになりました。

その一方で、私は「日本人らしさ」との向き合い方も意識しました。礼儀やマナーといった良い特徴は大切に守りながらも、周囲の目を気にしすぎず、自分の意見をなかなか口にできない、集団行動を好んでしまう。そうした「悪い意味での日本人らしさ」は意識的に捨てました。アイルランドでは、自分の考えをはっきりと伝えなければ相手に理解されないし、行動しなければチャンスは逃してしまいます。そこで私は、失敗を恐れず一歩踏み出すことを習慣にしました。年齢・性別・国籍問わず、初対面でも積極的に話しかけること。授業でわからないことはすぐに聞くこと。1人で困っている人がいたら放課後誘って、みんなと繋がるコミュニティを作る。小さなことかもしれないけれど、日本にいたら中々行動できないことも前向きに取り組めました。実際に挑戦する中で、思うようにいかないこともありました。その度に学び直し、次に活かすことで自分の成長を実感できました。「失敗は恥ずかしいものではなく、成長のきっかけである」と心から感じられるようになったことは、この留学の大きな成果の一つです。

また、日常生活では「笑顔で挨拶すること」を大切にしました。たとえ知らない人でも、目が合えば笑って声をかける。違う言語での挨拶から関係が始まり、顔を合わせるうちに自然と親しくなる。バスでたまたま行き先が同じだったことがきっかけで仲良くなることもありました。このような小さな積み重ねが、豊かな人間関係を築く基盤になったのです。

アイルランドでの半年間は、人の優しさや温かさを日々感じる時間でもありました。困ったときには必ず誰かが親切に助けてくれる。そのような些細な出来事の一つ一つが、私の留学生生活をより充実したものしてくれました。気づけば、一生大切にしたいと思える友人にも出会うことができました。

以上の経験を通して、私は「積極的に動けば必ず成果が得られる」ということを実感しました。意欲的に取り組んだからこそ、自分自身の成長だけでなく、日本を発信する喜びや、多国籍の人々と心を通わせる大切さを学ぶことができました。そして何より、「失敗を恐れず挑戦する姿勢」を身につけられたことは、これからの人生においても大きな財産になると確信しています。



02

交換留学

根来 天翔 Tenka Negoro

人間生活学科 住空間デザインコース

Q1. 留学しようと思ったきっかけは何ですか？

言語面では、もともと英語を学びたいという気持ちが強くありましたが、同時にK-POPや韓国ドラマなど、韓国の文化にも以前から関心があり、韓国語にも興味を持っていました。順天郷大学では、異文化交流をしながら英語力を伸ばせると聞き、好きで関心のある環境の中で言語を学べる点に大きな魅力を感じ、留学を決めました。

Q3. 留学を通して学んだことを教えてください。

最も成長を実感しているのは、韓国語力です。留学前はハングルが書ける程度で、会話も挨拶しかできませんでしたが、現在では簡単な日常会話ができるようになり、韓国ドラマも日本語字幕なしで内容をある程度理解できるようになりました。寮のルームメイトが2学期とも韓国人だったことや、週に5時間韓国人のパートナーと交流するプログラム、さらに韓国人の友人ができたこともあり、特に会話力が大きく伸びたと感じています。一方で英語については、アウトプットよりもリスニング力の向上を実感しています。ネイティブとの会話や授業で、最初は聞き取れなかった内容が徐々に理解できるようになりました。また、言語面だけでなく、さまざまな国の人々と出会い、韓国の文化を実際に体験することで、多様な価値観を受け入れる姿勢や異文化理解の大切さを学びました。



留学先

順天郷大学 (SCH)

留学期間 2025年2月～12月(10か月間)



Q2. 留学先はどのような授業を履修しましたか？また、授業の様子を教えてください。

前期は主に、英語で韓国の文化やエンターテインメント、歴史について学ぶ授業を履修しました。ネイティブ向けの授業で決して簡単ではありませんでしたが、配布資料やプレゼンテーション資料を活用しながら、理解を深めることができました。グループワークやプレゼンテーションを行う授業も多く、最低限の英語力は必要でしたが、その分実践的な力を養うことができたと感じています。学期末にはフィールドワークや、エンターテインメントの授業でミュージックビデオを制作するなど、楽しみながら韓国文化を学ぶ機会もありました。後期は主に中級韓国語の授業を、読む・書く・聞く・話すの4技能すべて履修しました。それぞれの授業で集中的に練習する時間があり、着実に韓国語力を伸ばすことができました。どの授業でも先生方が学生一人ひとりの理解度を気にかけてくださるため、安心して授業を受けることができました。

Q4. 卒業後の進路について教えてください。また、留学経験を今後どのように活かしていきたいですか？

卒業後の進路についてはまだ模索中ですが、英語や韓国語を活かせる国際的な環境で働き、より広い世界を見てみたいと考えています。留学を通して得た語学力や異文化理解の経験を、今後のキャリアに繋げていきたいです。

Q5. 後輩へアドバイスをお願いします！

留学に対して、「友達ができるか」「授業についていけるか」など不安を感じる方も多くと思います。しかし、留学は自分が大きく成長できる貴重な機会であることは間違いありません。私自身も最初は不安でしたが、今では韓国人だけでなく、中国人、アメリカ人、イタリア人、ウズベキスタン人など、さまざまな背景を持つ人々と仲良くなることができました。最初は会話があまく成り立たなくても、「伝えよう」とする気持ちがあれば、相手も理解しようとしてくれます。特別にかけがえのない日々を過ごすことができ、帰るのが嫌になるほど楽しい留学生活でした。少しでも興味があるなら、ぜひ挑戦してほしいです。